

「キリン 生茶」「キリン 生茶 ほうじ煎茶」 リニューアル発売後 4 週間で販売数量 6,000 万本^{※1} 突破！ ～「キリン 生茶」は発売から 3 日間で 145 万箱を突破～

キリンビバレッジ株式会社（社長 吉村透留）が、4月26日（火）にリニューアル発売した「キリン 生茶」と「キリン 生茶 ほうじ煎茶」は、発売から4週間で販売数量が合計で6,000万本を突破しました。

今回のリニューアルでは「キリン 生茶」は発売から3日間で145万箱を突破しました。発売から3日間での販売数量においては、直近2020年リニューアル時の120万箱を上回りました。

※1 2022年5月23日（月）時点

●「キリン 生茶」「キリン 生茶 ほうじ煎茶」好調の要因

① **すっきりと飲みやすくなった味覚が好評** ※「キリン 生茶 ほうじ煎茶」の中味は変更ありません
今回、「キリン 生茶」を生茶葉の自然なあまみを感じながらも、後味がすっきりとした味覚へと進化させました。近年、ペットボトル緑茶の飲用シーンの広がりから、お客様はよりすっきりと飲みやすい味わいを好む傾向^{※2}となる中、お客様からは、「お茶の香りがしっかりありつつも、後味がすっきりしていて飲みやすい」「苦すぎない飲みやすさが魅力的」と好評いただいています。

※2 当社調べ

② 大刷新したパッケージは店頭での視認性も高くトライアルを喚起

デザインを一新し、ラベルを短尺化したことにより、ペットボトルの中のお茶の色が見えるようになったこと、モダンで爽やかなデザインになったことで注目が集まっています。「キリン 生茶 ほうじ煎茶」は購入率^{※3}がリニューアル前と比較して、約6倍^{※4}に上がるなど伸長しました。

※3 SCI パネル全人数にて、該当商品を期間内に購入した人が占める割合

※4 インテージ SCI,全容量、2022年4月26日 から 1 週間 比較：2022年4月19日から1週間

③ 満島ひかりさん・吉沢亮さん登場の CM・SNS キャンペーン効果

満島ひかりさんと吉沢亮さんが「生茶」を紹介する CM に、「新しくなった生茶を試してみたい！」などの声が集まっています。また、発売当日から展開した SNS キャンペーンは、2週間で約13万ツイートされるなどの反響があり、これまで「生茶」を飲んでいなかったお客様に商品を手にとっていただくきっかけとなりました。



キリングループは、自然と人を見つめるものづくりで、「食と健康」の新たなよろこびを広げ、こころ豊かな社会の実現に貢献します。

記

商品名	発売日	容量	容器	単位	価格	チャネル	発売地域
「キリン 生茶」 「キリン 生茶 ほうじ煎茶」	2022年 4月26日（火）	280ml	ペットボトル	1本	115円	-	全国
		525ml	ペットボトル	1本	140円	-	
		600ml	ペットボトル ※R100ペットボトル	1本	140円	コンビニエンスストア限定	
		525ml	ペットボトル ※ラベルレス	6本	840円	量販店限定	
		525ml	ペットボトル ※ラベルレス	1ケース（24本入り）	3,360円	EC限定	
「キリン 生茶」のみ	※「キリン 生茶」 555mlは年内に 「R100ペットボ トル」の順次導入拡 大を実施	300ml	ペットボトル	1本	115円	-	
		555ml	ペットボトル ※R100ペットボトル	1本	127円	自動販売機限定	
		2L	ペットボトル	1本	350円	-	
		2L	ペットボトル	1ケース（9本入り）	3,150円	EC限定	
		2L	ペットボトル ※ラベルレス	1ケース（9本入り）	3,150円	EC限定	
		185g	缶	1本	80円	-	
		340g	缶	1本	115円	-	
250ml	紙・LLスリム	1本	100円	-			

※価格は消費税抜き希望小売価格

以上

（お客様お問い合わせ先）

キリンホールディングス株式会社 キリンビバレッジお客様相談室
企業情報 Web サイト <https://www.kirinholdings.com/>

（フリーダイヤル）0120-595-955
商品・サービス情報 Web サイト <https://www.kirin.co.jp/>